



## の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等
4	水	フォークダンス (10:00~12:00)
6	金	大町子ども会学習会 (13:30~15:00) 健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
7	土	神戸コスモス子ども会学習会 (13:30~15:00) 人権啓発指導者育成講座(13:30~15:30)
9	月	振替休日
10	火	大町子ども会学習会 (13:30~15:00)
13	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
14	土	詩吟 (19:00~21:00)
18	水	フォークダンス (10:00~12:00) 健康相談 (13:30~15:30)
20	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
24	火	茶道 (13:30~15:30)
27	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
28	土	神戸コスモス子ども会学習会 (13:30~15:00) 詩吟 (19:00~21:00)
31	火	茶道 (13:30~15:30)

【開館時間】 9 : 00 ~ 17 : 00

【休館日】 土曜日 日曜日

国民の祝日

年末年始 (12/29~1/3)



～毎月10日は人権を考える日～

「解放令」 布告 150年

1871 (明治4) 年に、「差別されてきた人々の身分を廃止して、これからは身分・職業ともに平民と同じにする」という太政官布告 (いわゆる「解放令」) が出されました。今年、それから 150 年という大きな節目の年を迎えました。

「解放令」によって、制度上は、身分差別を行う法的な根拠はなくなりました。しかし、「部落差別解消推進法」には、「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」と明記されています。せん称が廃止されて 150 年たった今も差別が残り、差別事件が起きているのはどうしてでしょうか。それを明らかにしないと、「部落差別解消推進法」に明記された、「部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現する」という法の「目的」も、単なるスローガンに終わってしまいかねません。

「解放令」を受けて、被差別身分とされた人々は「これから平等に生きられる」と、歓喜にわきました。しかし、民衆には、租税、徴兵、学制など新たな負担が増えました。人々の間に残された根強い差別意識によって、不安定な職業に就かざるを得ない実態がありました。多くの人の生活はますます苦しくなっていたのです。

明治政府は、差別をなくすための具体的な取組を行いませんでした。そこで被差別部落の人々は、団結して差別に立ち向かっていったのです。

「解放令」を差別からの解放の根拠として立ち上った人々の姿を忘れることなく、私たち一人一人も、差別解消に向けて具体的に行動できる力を育てていきましょう。

西条市人権教育協議会・西条市人権擁護課

# 大町会館 だより 8月号

2021年 8月 第256号

発行: 西条市大町会館

西条市福武甲1644番地1

TEL・FAX 55-5393

eメール

omachikaikan@saijo-city.jp

## 令和3年度第1回人権啓発指導者育成講座 開催

～部落史学習のこれまでとこれから 林田哲雄の生き方に学ぶ～

7月3日 (土)、令和3年度第1回人権啓発指導者育成講座を開催しました。

梅雨本番ともいふべきむしむしする時節となりましたが、会場は30名を超える受講の皆様を迎え、換気をしながらエアコンもほどよく効いた快適な「学びの空間」となりました。

講師に前氷見交友会館館長の越智基博さんをお迎えして、『部落史学習のこれまでとこれから～林田 哲雄 (小松町出身) の生き方を通して～』と題してご講演いただきました。

講話の冒頭では、「どのような差別にも共通するが、いかなる歴史的背景や経緯があるにせよ、それを根拠や口実にして、今ある差別を合理化し容認することは絶対許されないことである。」ことを強調され、改めて自問しなければならないと感じました。

講演の柱である『これまでの部落史学習』の視点では、「部落差別の責任を近世の為政者に負わせた。」「自分には関係ない、他人の意識を持たせた。」ことが、『これからの部落史学習』の視点では、「部落の暮らしの中に密着した歴史や伝統 (人権尊重・共同体) の視点で捉え直していく。」ことが、郷土の先人『林田 哲雄の生き方を通して』では、「苦しみや差別から逃げるのではなく、その苦しみや差別をなくす取組や生き方、自らが立ち上がること、仲間と共に、そして団結することの大切さ」が、とても印象深く、心に響く時間を共有でき、多くの学びを得ることができました。今日の学びを自らの生活や生き方に繋げていきたいと思ひます。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



## 第256回 会館ミニ展示会

『切り絵 作品展』

【日程】 8月23日 (月) ~ 31日 (火)

【場所】 大町会館 玄関ホール

【提供】 塩崎 剛 さん

一人で悩まないで、まずはお気軽にご相談ください。

ここ大町会館 (隣保館) は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館 (☎0897-55-5393)** まで、お気軽にご相談ください。

## 神戸コスモス子ども会開講式 & 七夕笹飾りづくりを行いました。

先月6月19日(土)に神戸コスモス子ども会の開講式及び七夕笹の短冊・飾りづくりを山の下集会所で行いました。始めに館長から今年度の子ども会スローガン『3つの(間)~【仲間・時間・空間】』について、このことを意識しながら共に高め合い、楽しく活動していこうというお話がありました。次に、子ども会メンバーが自己紹介をしながら今年度の子ども会活動の目標を一人一人発表しました。

令和3年度の子ども会活動では、夏休み学習会や夕涼み会、9/18(土)に予定されている県内研修(鬼北町の武左衛門一揆資料館)での学習等の日程や内容について話し合いました。

その後続いて、子ども会メンバーと保護者・子ども会の卒業生・地域の皆さん、そして神戸小学校・氷見小学校・西条南中学校の先生方、みんなで七夕の短冊(願い事)づくりや飾りづくりをしました。自分たちの身近な地域や生活、これからの将来や未来が安心して安全な暮らしができますように、差別のない社会となりますようにと願いを込めて、一人一人が短冊にその思いや願いをしたため、笹に飾りつけました。出来上がった七夕の笹は、雨天のことも考えて集会所の玄関内側に立て掛けました。

今年度も神戸コスモス子ども会の活動に、何とぞご協力・ご支援をよろしくお願い致します。



## 第1回健康教室『知っておきたいお薬のお話』を開催しました。

梅雨も終盤戦を迎えた7月16日(金)、令和3年度第1回健康教室を開催しました。

済生会西条病院薬局薬剤師の宮崎 文子先生を講師にお迎えして、『薬の効果と副作用&お薬手帳の有効活用』というテーマの健康教室でした。

『知っておきたいお薬のお話』という内容を中心としながら、上記のテーマの具体的な事例について多くのことを学ぶことができました。皆さんも次の3つの項目について、ご自分やご家族のこととして受け止め、これからの生活に活かしていきましょう。

- ①お薬を正しく服用して、健康管理に努めましょう。(服用時間、飲み忘れ、副作用、飲み合わせ、保管方法など)
- ②お薬手帳はいざという時(災害時、避難時等)に必ず役に立ちます。上手に活用しましょう。(常時携帯しましょう。)
- ③お薬のことで気になることや困ったことがあれば、いつでも薬剤師の方に相談しましょう。



皆さん、お薬は正しく服用し、その効果と副作用に留意しましょう。そして、お薬手帳も常時携帯して、有効的な活用を図りましょう。

本教室にご参加いただいた健康体操サークルの皆様、ありがとうございました。



## 第2回 人権啓発指導者育成講座

令和3年度人権啓発指導者育成講座(全4回)の第2回講座を下記のとおり実施します。

《日 時》 8月7日(土) 13:30~15:30

《場 所》 大町会館 2階大会議室

《講 師》 白石 由紀子 さん

《演 題》 『今一度考えてみたい 人権と、そして命の重みを』

日常生活において身近に発生する様々な人権問題について、考え、気付くきっかけとなりますよう、多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

※受講ご希望の方は、大町会館(☎55-5393)までお申込みください。